

大学の様々な取り組み

本学Webサイトに掲載された記事を中心に紹介します。<2024年11月～2025年10月>
社名、役職名、学生の学年などは、記事掲載時の情報です。

中央大学(韓国)・国立中央大学(台湾)との 3中央大学連合協定"Triple-C Collaboration" 調印式を開催

2025年9月19日、韓国の中央大学ソウルキャンパスにて、3中央大学連合協定 Triple-C Collaboration 調印式が行われました。韓国の中央大学(Chung-Ang University)、台湾の国立中央大学(National Central University)、そして本学は、これまで個別に協定を結び交流を重ねてきましたが、今回「中央」の名を共有する3大学が新たに連携を深める協定を締結しました。本学からは河合久学長をはじめ、国松麻季副学長・国際センター所長、尹智鉉教授(文学部・国際センター専門員)、若林茂則教授(文学部)、飯尾淳教授(国際情報学部)らが出席しました。各大学の代表は互いの友情と今後の協力への期待を語り、ICT・AI・人文社会分野での共同研究や学生・職員交流、アントレプレナーシップ教育などの連携を確認しました。3大学は東アジアから新たな価値を創造し還元していくことを目指します。

その他、2025年2月13日には、本学タイ・オフィス(中央大学・タマサート大学コラボレーションセンター)開設10周年を記念した式典・シンポジウムを開催、2025年6月30日には、同年に開設した中央大学北京サポートデスク(中国・北京市朝阳区)の成立式を行いました。

中央大学は、グローバル人材育成のために、海外の大学との交流協定の締結を進めています。協定の締結により、交換留学や研究交流など、さまざまな交流機会の実現を目指します。



ビジネススクール(CBS)が、ビジネス教育の 国際認証機関であるAMBA (The Association of MBAs:英国)を継続取得



ビジネス教育の国際認証とは、国際的な第三者機関による認証評価を通じて、ビジネススクールの教育研究活動の質を担保するものです。今回2025年9月5日の再認証取得によりCBSは、引き続き世界トップクラスのビジネススクールと並ぶ教育研究水準を維持していることが確認され、また、継続的な教育の質の改善への取り組みが評価されました。認証評価を行ったAMBAは、1967年に英国で設立されたビジネス教育の国際認証機関であり、AACSB (The Association to Advance Collegiate Schools of Business:米国)、EFMD (The European Foundation for Management Development:ベルギー) とならぶ、三大国際認証機関の1つです。2025年時点では、世界のビジネススクールの約2パーセント、316校がAMBAにより認証評価されており、日本での認証校はCBSを含め数校に限られます。



AI就活面談練習システム 'Chu活ボット2.0'をリリース

キャリアセンターは、生成系AIを活用した就活面談練習システム「Chu活ボット」を機能拡張し、「Chu活ボット2.0」としてリリースしました。本システムは、2022年度理工学研究科情報工学専攻修了・水谷林太郎さん(鈴木寿研究室)が開発したもので、新バージョンでは、本学マスコットキャラクター「チュー王子」の3Dアバターを面談員として追加。理工学部情報工学科4年・安藤莉紗さん(牧野研究室)が制作したもので、チュー王子らしい表情や動きが魅力です。面談員はチュー王子のほか、「Unity-chan」と「女性面談員」からも選択可能で、「Chu活ボット2.0」のリリースにより、オンラインでの利用が可能になり、応答ボタン機能により会話の聞き漏れや重複を改善。面談後は、大学独自の評価基準に基づき「コミュニケーション力」「問題解決力」など7カテゴリー31項目をレーダーチャートで可視化します。AI面接を導入する企業も増える中、実践的な面接対策として活用されています。

2024年度(142回) 中央大学卒業式・大学院修士学位授与式を挙行

2025年3月23日、後楽園キャンパスにて、また25日多摩キャンパスにて、卒業式・修士学位授与式を挙行しました。多くの卒業生・修了生が出席し、河合久学長より総代・代表に学位記が授与されました。式典終了後は、各学部・研究科に分かれ、それぞれの会場で学位記授与を行いました。



卒業証書・学位記授与 経済学部総代
卒業証書・学位記授与 文部科学部総代

立川市との市立中学校部活動の地域連携・ 地域移行の協力について

社会連携および社会貢献の理念のもと、CHUOスポーツセンター(CSC)の使命と「中央大学スポーツ憲章」に基づき、地域との協働を積極的に推進しています。その取り組みの一環として、立川市と包括連携協定を締結し、同市が進める「休日部活動の地域連携・地域移行」に向けた支援を行っています。卓球競技に加え、新たに陸上競技の指導者も派遣し、地域の中学校の部活動をサポートしています。今後は、指導者を継続的かつ安定的に派遣できる体制の構築を目指し、トライアル事業を進めてまいります。

中央大学は、地域社会とのつながりをさらに深め、スポーツを通じた地域貢献を推進しながら、次世代のアスリート育成と健全なスポーツ環境の整備に取り組んでいます。



エヌビディア合同会社と学術連携協定を締結

2025年3月4日、米国半導体メーカーNVIDIA(エヌビディア)の日本法人であるエヌビディア合同会社(東京都港区)と、学術連携に関する協定を締結しました。本協定は、教育・研究・社会貢献の分野で包括的かつ緊密な連携を築き、相互の発展を図ることを目的としています。今後は、人材交流や講演会・シンポジウムの開催、学術情報の共有、共同研究・研究開発などを通じて、教育研究の充実と人材育成、地域共生社会の実現を目指します。

締結式後の懇談会では、エヌビディア合同会社の井崎氏よりAI・ディープラーニングの進展や産業応用、ロボティクスとの融合に関するお話をありました。終始和やかな雰囲気の中で進み、AI技術の発展と人材育成、大学と企業の連携による新たな教育・研究の可能性について活発な意見交換が行われました。



左からエヌビディア合同会社廣岡氏、平野氏、岸本氏、堀内氏、井崎氏、中央大学河合学長、石井副学長、櫻山副学長、梅田理工学部長、斎藤教授、生田目教授

2025度中央大学入学式を挙行

2025年4月2日、多摩キャンパス第一体育館アリーナにおいて、2025年度入学式を挙行しました。全学部、全大学院(専門職大学院を除く)の新入生が多数出席しました。同伴者の方々には、多摩キャンパス9号館・8号館において、中継映像をご視聴いただきました。

国際経営学部の秋入学式は、2025年9月14日Forest Gateway Chuoホールにて行われ、今年度は33名の新入生を迎えることになりました。



フォトスポット

河合久学長 式辞

国際情報学部が公益社団法人神奈川県観光 協会と連携協定を締結

2025年5月30日、国際情報学部は、公益社団法人神奈川県観光協会と「神奈川県内の観光動向に関する実態調査・ソリューション提案」についての連携協定を締結しました。本協定は、「情報技術に基づく観光振興」に資することを目的とし、オーバーツーリズムが課題とされる箱根・鎌倉などの地域から、閑散地区への人流移動を実現するため、情報技術を用いたコンテンツ創造と効果検証を目指します。

2025年6月2日には、藤沢市の江ノ島電鉄本社でキックオフ会合が実施され、国際情報学部の岡嶋裕史教授と岡嶋ゼミの学生が参加。岡嶋ゼミでは、インターネット技術を活用した社会課題の解決に取り組んでおり、本連携を通じて、観光分野における実践的な研究と地域貢献を進めています。



大学史資料館にて第2回企画展示「中央大学 創立140周年記念展示 140年のあゆみ」開催中

中央大学は創立140周年を迎えました。1885年に英吉利法律学校として誕生して以来、経済・商・理工・文・総合政策・国際経営・国際情報などの学部を設置し、さらにロースクールやビジネススクールなどの専門職大学院、戦後の通信教育部の開設など、時代や社会の要請に応じて発展してきました。本企画展では、各学部・専門職大学院の歩みや学びを示す貴重な資料を公開し、これらを基に編まれた周年史、特に2025年12月発行予定の「創立140周年史」を紹介します。本企画展を通して、本学140年の歴史を振り返り、次の時代への展望を共有します。また、多くの方にご覧いただけるよう、展示内容はオンラインでも公開しています。ご来館をお待ちしています。

開館時間
10:00～17:00 入館は16:30まで
休館日
日曜・祝日
会場
中央大学多摩キャンパス
「炎の塔」2階
大学史資料館企画展示室
入館料
無料

